

「改正健康増進法」と「やまがた受動喫煙防止宣言」における施設類型ごとの講ずべき対策について

【改正法】			【やまがた受動喫煙防止宣言】					
区分	施設の類型	講ずべき対策	区分	施設の類型	講ずべき対策 (努力義務)	施設類型の 考え方		
第一種施設	<ul style="list-style-type: none"> 学校・病院・児童福祉施設等、行政機関 旅客運送事業自動車・航空機 	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙 (屋外喫煙場所設置可) 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが主に利用する施設 医療機関 	<ul style="list-style-type: none"> 学校（大学等を除く） 認定こども園、幼稚園、児童福祉施設病院 病院 	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙 (屋外喫煙場所設置不可) 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども、患者等が利用する施設 子ども、患者等が利用する代替のきかない施設 		
			<ul style="list-style-type: none"> 公共性の高い施設 	<ul style="list-style-type: none"> 大学等、官公庁施設 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内禁煙 少なくとも屋内禁煙 (屋外喫煙場所設置可) 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや患者等も利用する施設 公共性が高く、代替がきかない施設 		
			<ul style="list-style-type: none"> 旅客運送事業自動車（バス、タクシー）・航空機 		—	—		
第二種施設	<ul style="list-style-type: none"> 第1種施設以外の多数の者が利用する施設 旅客運送事業船舶・鉄道 	<ul style="list-style-type: none"> 原則屋内禁煙 (屋内の喫煙専用室設置可) 《経過措置》 (当分の間) 加熱式たばこ専用喫煙室設置可 	<ul style="list-style-type: none"> 公共性の高い施設 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉施設（老人・障がい）、美術館・博物館、図書館、体育館等、駅舎・バスターミナル、金融機関・郵便・水道・電気等の営業所（公共的空間のみ）、劇場、映画館、展示場、集会場、公会堂、観覧場、公衆浴場 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内禁煙 少なくとも屋内禁煙 (屋内の喫煙専用室設置不可) 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや患者等も利用する施設 公共性が高く、代替がきかない施設 		
			<ul style="list-style-type: none"> 客席面積 100㎡以下で、個人又は中小企業（資本金又は出資の総額 5,000 万円以下）が経営する <u>既存飲食店</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 《経過措置》 主たる出入口への標識の掲示により喫煙可 	<ul style="list-style-type: none"> 不特定多数の者が利用する施設 	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店、理・美容店、宿泊施設、販売施設、遊技・娯楽施設 	<ul style="list-style-type: none"> 屋内禁煙 少なくとも完全分煙（＝喫煙専用室設置） [客席面積 100㎡以下等の例外無] ※直ちに上記対策を実施することが困難な場合は、空間分煙や時間分煙等を含め、各業態の実情に合わせた実効性のある対策を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを含め不特定多数の者が利用する施設 利用者の選択がある程度可能な施設
					<ul style="list-style-type: none"> 上記以外の多数の者が利用する施設 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所（職場）等 	<ul style="list-style-type: none"> 職場については、喫煙マナーの向上（受動喫煙を受けた者の割合半減）の目標設定 	—
						<ul style="list-style-type: none"> 旅客運送事業船舶・鉄道 	—	—

(注1) は、「宣言」において、講ずべき対策を規定していない施設等（「改正法」により新たに規制の対象となる施設等）